

ふれあい

2014年 冬季号 vol.53

2014年(平成26年)1月31日発行

日本医療機能評価機構認定病院 医療法人社団 浅ノ川 金沢脳神経外科病院 広報誌
発行所/ 広報企画室 石川県野々市市郷町262-2
TEL: 076-246-5600 FAX: 076-246-3914 http://www.nouge.net



病院理念

脳神経外科専門病院として私達は患者の皆様により高度の医療技術を提供し、公平で平等な患者中心の医療を行います。

基本方針

1. 患者の皆様と人間性を尊重した温かい医療の提供に努めます。
2. 地域の医療機関と連携を行い、患者の皆様が安心と満足の得られる医療の提供に努めます。
3. 脳神経外科専門病院として、地域の救急医療の提供に努めます。
4. 急性期から回復期リハビリ、慢性期の一貫した医療を提供します。
5. 患者の皆様に対して、適切な言葉と態度を心がけるよう努めます。
6. 患者の皆様のご意見、ご希望を医療に反映させるよう努めます。

患者の皆様への権利

私達は患者の皆様への権利を尊重し、信頼に基づいた医療を行うため、患者の皆様への権利に関する宣言を掲げます。

1. 適切で最善の医療を公平に受ける権利
2. 検査や治療について真実を知り、十分な説明を受ける権利
3. 検査や治療を受ける権利と受けることを拒否する権利
4. プライバシーの秘密保持を得る権利
5. 病院や医師を自由に選択し、あるいは変更する権利

患者さんコーナー

白山市 片山 長昭 様

10年程前、金沢脳神経外科病院で、病院長佐藤秀次先生に、当時最新手術法MD法手術をしてもらい現在80才に成りますが、腰痛は全然気にしなくなり、年間50〜60回ヘタなゴルフをして、健康維持の為と思つて緑のジュータンを歩きすばらしい景色を楽しんで居ます。手術の前10〜15年程前から腰痛に苦しみ、人づてに聞く接骨医・針灸等遠くは他県まで行つて治療に通い、その費用は軽く百万は超していました。が、その効果無く遂に10mも歩く事が出来なくなり、腰の手術は怖いなんて言つておられなくなつて、先生にすがりました。

佐藤院長先生は、徹底的に診察して下さり、患者一人にこれだけ時間を掛けていいのかと思う位長時間かけてねんごろに説明して下さい、心配を取り去つて下さいました。

診断は年季の入つた脊柱管狭窄症で、痛みは取れても足のしびれは少し残るといわれて、全てをお任せして、二週間で退院出来ました。

少ししびれが有りますが、全然問題無く、その年で元気やねとしようちゅう言われ、現在の健康も先生の御陰だと深い感謝感謝で一杯です。ほんとうに有難うございました。

患者さん救済のため、今年もチャレンジングあるのみ!



病院長 佐藤 秀次

腰椎変性疾患は「治る、治せる疾患」を私のポリシーに掲げ、昨年も再手術の受け入れや、他院で手術を受けることのできない高齢者や難度の高い患者さん、原因不明とされた患者さんの受け入れを行つてきました。手術侵襲を最小化し、術後の患者さんの苦痛を可能な限り少なくすることが私の手術治療に対する基本方針です。もちろん、手術合併症を限りなくゼロに近づけることも手術における重要な課題と位置づけ、一定の成果を上げることができたのではと思つています。

先ず聞くことはありません。脳の手術は患者さんにとって、ただ恐ろしく、不安ばかりが普通です。「もし、万が一…」この不安が手術に常につきまとうからでしょう。その点、腰の手術は随分安心な手術になつていと感じます。この安心感に比べられる手術を今年1年間もやり遂げたいと思います。

私は、脊椎手術は患者さんの「生活の質の改善」に向けられるべきと考えています。患者さんの視点に立つて、満足できる手術へ発展させることこそが、私達脊椎外科医の使命だと考えています。

本年も一人でも多くの患者さん達の生活の質の改善を図るべく、スタッフと力を合わせ頑張りたいと思います。応援宜しくお願いいたします。

脊椎の手術をしていると、多くの患者さんから、手術の日を心待ちにしていたと聞かれます。この言葉は脳の手術を受ける患者さんからは



地域資源の紹介

医療と介護 の連携

地域医療福祉部
地域医療連携課

脳卒中になられた方が、地域で安心して質の高い生活を送ることができるよう、野々市市と白山市の介護サービスを紹介しています。

今回紹介するのは、『訪問看護サービス』についてです。看護師や准看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が、利用者さんの自宅を訪問し、指定された時間内に、療養にかかわる世話や必要な診療の補助を行います。

※介護保険の申請については、お住まいの地域の市役所にご相談ください。

野々市市役所（介護長寿課）

076-2227-6066

白山市役所（長寿介護課）

076-274-9529

地域事業所紹介

野々市 訪問看護ステーション



（特色） 看護師全員が、病院勤務3年以上の経験者です。

（職員） 常勤看護師3名、非常勤看護師2名、嘱託看護師2名、事務員1名

（利用者） 約40名

（看護師より）

医療依存が高い利用者さんは、家族にとって心配なことが多いものです。訪問看護は、1回30分から1時間と短い時間の関わりですが、常に利用者さんのことを気にかけています。看護師として、いかに在宅生活のお手伝いができるかを考えながら、家族にアドバイスや必要時の対処方法をお伝えしています。

在宅生活において、一番大きな力となるのは、家族の『介護力』です。そして利用者さんを介護するには、まず介護者が元気でいることが大切です。そのため私達は、利用者さんだけではなく、介護者の体調管理も含めて訪問させていただいています。さらにホームヘルパーなど、他のサービスの方々と役割分担することで、利用者さんと家族の生活を支えています。



（仕事に対する想い）

家族によって、『介護力』には差があります。それまでの利用者さんと家族との関係性があらわれているようです。そのことを知らない看護師が、家族に一方的に協力姿勢を強制することはできません。

常に訪問させていただいているという姿勢で、何度も訪問し、コミュニケーションを図り、受け入れてもらうことで信頼関係が築けます。利用者さんや家族の立場になって、どうしたら一番いいかを考えながら、立ち入って欲しくない想いなどには察する配慮も必要です。

また時には、介護に頑張りすぎている家族に、しつかりやらなければいけない部分と肩の力を抜いてい

い部分をアドバイスすることもあります。在宅生活を24時間看ているのは家族です。少しでも家族の負担軽減につながり、利用者さんや家族が望む生活が送れるように、かかりつけの医師やケアマネジャー、他の介護サービス事業所、行政と常日頃より連携し、協力できる体制づくりを心掛けています。

そんな私達の日々のやりがいは、利用者さんや家族からいただく温かい言葉です。

「看護師さんがいてくれたから、私が最後まで家で看ることができた。ありがとうございます。」

終末期の利用者さん家族からの感謝の言葉は、今でも忘れることができませぬ。



野々市訪問看護ステーション

住所 石川県野々市市野代1丁目20 クリエースト102号室

TEL 076-248-8707

月曜日～金曜日 8:30～17:15（電話は24時間対応）

臨床工学技士ってなんだろう？

手術部 臨床工学技士 坪野 浩之

当院に2013年9月から臨床工学技士という新たな職種が加わりましたので、この職種について簡単に説明させていただきます。

臨床工学技士はME(エムイー medical engineer)もしくはCE(シーイー clinical engineer)と呼ばれていますが、その臨床工学技士になるには4年制の大学もしくは3年制の専門学校にて厚生労働省が定めた全科目を履修し、更に病院での実習を経て国家試験の受



験資格を取得し、毎年3月に行われる国家試験に合格することで資格を取得することができます。

国家資格を取得した臨床工学技士は、臨床工学技士の名称を用いて、医師の指示の下に生命維持管理装置(人の呼吸、循環、代謝の機能の一部を代替、又は補助する)とが目的とする装置)の操作及び保守点検を行い、医師その他の医療関係者との緊密な連携を図り、適正な医療の確保に努めることとなります。

業務内容は、呼吸療法業務、人工心肺業務、血液浄化業務、高気圧治療業務、ICU・CCU業務、手術室業務、心臓カテーテル検査室業務、保守点検業務、ベースメーカー/外来業務などとなっておりますが、施設によって異なります。

当院に臨床工学技士という新たな専門的職種が加わったことで、患者の皆様には更により高度で安全な医療技術を提供します。

お知らせ

脳卒中予防のための小冊子を作成中

ただいま、当院では脳卒中予防のための小冊子を作成しています。

脳神経外科専門病院ならではの内容で、鋭意作成中です！



脳卒中予防のABC

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 櫻井香織・坂上みどり

第1回 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師とは？

脳卒中は、我が国において寝たきりや要介護状態の原因になる疾患として第1位となっております。

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師は、急性期から回復期、維持期(生活期)全てにおいて、専門性の高いケアを提供します。

看護師に対しては、専門性の高い看護を自らが実践し、スタッフを指導し、相談を受ける役割があります。そして、患者さんに対しては、発症直後から脳卒中による機能障害が最小限となるような

看護や管理を行い、リハビリテーション看護を実践し、患者さんやご家族が望む生活に向けて多職種と協働しながらチーム医療を実践しています。また、脳卒中の啓発活動を行うとともに、地域の皆さんが、

健康で生き生きとした生活が送れるよう支援していきたいと考えています。

TOPIC セラピーコンサート開催

12月25日に金沢医科大学の角谷晋平氏による「クリスマスコンサート in 金沢脳神経外科病院」と題したピアノ弾き語りコンサートを行いました。「蘇州夜曲」、「テネシーワルツ」といった懐かしい曲からクリスマスソングの弾き語りに一緒に口ずさむ方も見られました。サプライズとして12月のお誕生日の方にはバラの花のプレゼントもあり、みんなでハッピーバイステイを合唱してお祝いしました。バラエティに富んだ構成のコンサートに皆さん大変喜んでくださいました。



患者・職員 満足向上委員会



11月10日に脳卒中啓発イベント「脳卒中講座2013」を開催しました。当日は悪天候でしたが、118名の方が来場してくださいました。多目的ホールで行ったKno w卒中劇団による劇「知つとかん」と「Kno w卒中」や、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師と管理栄養士による脳卒中予防のための講演会は、立ち見が出るほどの大盛況でした。また、総合受付前では各部門による解説付きのポスター展示、看護部による介護実演を行いました。どちらも皆さんの脳卒中に対する関心の高さを示すかのように、多くの質問が寄せられました。今後も、このような機会を設けて脳卒中の啓発活動を続けていきます。



FaceBook講座 始まります!

「FaceBookって何だろう?」
「やってみたいけど難しそう…」
そんな風に思っている方にお知らせです。

f ゼロから始める FaceBook講座

スマートフォンを持っているのに FaceBook を知らないなんてもったいない! パソコンが自宅にあるのに FaceBook を使わないなんて宝の持ち腐れです! 誰でも簡単に楽しめて、お友達や家族との距離もぐっと近くなる FaceBook を是非この機会に初めてみませんか? どなたでも参加は無料です。



3月から当院で開講予定

患者さんコーナー

高山市 熊崎 實様

その時の、私の足と腰の状態は最悪でした。腰椎の椎間板を大きく飛び出したヘルニアは容赦なく背骨の周りの神経を圧迫していました。それは体の前まで(手術に對しては裏側)に達していて手術はかなり高度なものになるとの説明がありました。

私の体は、自分の意識としては真つすぐに立っているつもりでも体は疼痛性側弯の状態でした。

杖を片手に店に立つ「婦人服小売業」なのですが痛みのため接客は集中力を欠き、普通時でも厳しい早近、売上は右肩下がりにアツという間にダウン、家内と商売を始めて34年、初めてのピンチを迎えていました。

地元の整形外科に通院していたのですが、根が真面目な私は言われるまま、牽引、電気、シップ等での治療を五ヶ月程続けていました。それが災いし悪化してしまいました。

そんな中、店のお客さんである知人の紹介で金沢脳神経外科病院のことを知りました。そして事前に予約を取り佐藤院長先生の

診察を受けました。手術はMD法を選択し、手術日も決まりました。事前の各種検査に於いては、麻酔科の先生をはじめ各担当の方、看護師さんには本当に親切丁寧な説明をして頂きました。

私は何の不安もなく手術を受ける事ができ、こち良い夢の中にいて名前を何度も呼ばれて初めて手術が終了している事に気づきました。

術後にいわれるような一般的な合併症等は何にもありませんでした。

翌日、看護師さんに立つてごらんといわれて、2本足で、無痛で歩けた時の感動は今も忘れません。その時は、嬉しさのあまり私の目に涙がにじむのを覚えています。苦しみから抜けることができた喜びの瞬間です。

術後一ヶ月余、私は元気を取り戻しました。日に日に、足、腰が強くなるのを実感している今日この頃です。

最後になりましたが主治医の竹内文彦先生、理学療法士の本谷さん、本当に有難うございました。皆様方の更なる御活躍と御健康をお祈り申し上げます。

草々